

私立大学図書館協会 2022年度 第1回 西地区部会役員会 議事要録

1. 日時：2022年6月16日（木）15:00～16:07

2. 場所：Web会議（Zoom）

3. 出席：12校29名

（敬称略）

役員名称	大学名	議決権	職名	氏名
監事校	佛教大学	○	部長	内田 仁
			課長	神藤 静香
東海地区理事校	愛知工業大学	○	館長	大島 和幸
			参事	加藤 直美
			課長	榘岡 憲司
京都地区理事校	近畿大学農学部	○	職員	近藤 明子
阪神地区理事校	四天王寺大学	○	課長	永原 英博
			主任	米谷 明
				岡田 大
中国・四国地区理事校	川崎医療福祉大学	○	係長	細川 芳美
			副主任	杉本 美佳
九州地区理事校	福岡工業大学	○	図書館長	木室 義彦
			事務部長	中島 良二
			司書	河野 真奈美
総会当番校	同志社女子大学	/	課長	星野 勝一
			係長	田淵 英孝
研究会当番校	沖縄国際大学	/	図書館長	山口 真也
			課長	富里 珠美
			課長補佐	久場 剛
次期部会長校	中部大学	/	次長	高木 秀明
				堂ノ脇 浩二
2023年度総会当番校	名古屋学院大学	/	課長	牧野 雅
			課長補佐	児玉 政和
				山田 千晴

2023 年度 研究会当番校	広島工業大学		室長	西村 比登志
			次長	河野 和宏
部会長校	松山大学	○	図書館長	中村 雅人
			次長	児島 理恵
			事務長	山内 弘一

議事進行は、西地区部会長校の中村雅人館長（松山大学図書館）が担当した。
議事に先立ち、Web 会議システム（Zoom）の接続確認を兼ねて出席確認を行った。
全ての役員校の出席があり、役員会が成立している旨が告げられ、議事に入った。

I. 報告事項

1. 2021 年度西地区部会会務報告

西地区部会長校 松山大学（児島）より、資料（p. 3～6）に基づき報告があった。

2. 2021 年度各地区協議会会務報告および各地区協議会研究会報告

東海地区：東海地区協議会理事校 愛知工業大学（加藤）より、資料（p. 7～11）に基づき、報告があった。

京都地区：京都地区協議会理事校 近畿大学農学部（近藤）より、資料（p. 11～14）に基づき、報告があった。

なお、2023 年度からは協議会と研究会の回数削減が決定しており、当番校のローテーションが変わるのでその調整案と各加盟校から徴収している 9000 円の分担金の廃止案を作成し、京都地区協議会に諮った後、2023 年度からの京都地区協議会内の活動のスリム化を目指していることが報告された。

阪神地区：阪神地区協議会理事校 四天王寺大学（米谷）より、資料（p. 14～16）に基づき、報告があった。

中国・四国地区：中国・四国地区協議会理事校 川崎医療福祉大学（細川）より、資料（p. 16～18）に基づき、報告があった。

九州地区：九州地区協議会理事校 福岡工業大学（中島）より、資料（p. 18～23）に基づき、報告があった。

3. 2021 年度私立大学図書館協会会務報告

西地区部会長校 松山大学（児島）より、資料（p. 24～48）に基づき、報告があった。

4. 2022 年度協会役員校、委員会および協会関連団体等委員

西地区部会長校 松山大学（児島）より、資料（p. 49～51）に基づき、報告があった。

II. 協議事項

1. 2021年度西地区部会決算（案）および監査報告について

西地区部会長校 松山大学（児島）より、資料（p. 52～53）に基づき報告があった。その後、監事校 佛教大学（神藤）より、監査の結果、会計基準に則り、適正に処理されていることが報告され、原案どおり異議なく承認された。

2. 2022年度西地区部会事業計画（案）について

西地区部会長校 松山大学（山内）より、資料（p. 54）に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり異議なく承認された。

なお、総会および研究会について、西地区部会総会当番校同志社女子大学（星野）、西地区部会研究会当番校 沖縄国際大学（山口）および松山大学（山内）より、次の説明と確認がなされた。

総会については、予定どおり2022年6月17日（金）～6月23日（木）に資料メール配信によるメール会議とする。回答は、Google フォームで作成した回答フォームに各加盟館が直接回答する方式とし、回答締切時間を6月23日（木）の18:00とする。回答フォームへの送信を以って出席とみなす。

研究会については、6月24日（金）13:00～15:30に沖縄国際大学をホストとしたZoomウェビナーによる開催。参加申し込みは、64校129名。研究発表の内容を録画し、後日オンデマンド配信を1か月程度行う。

3. 2022年度西地区部会予算（案）について

2022年度西地区部会予算（案）について、西地区部会長校 松山大学（児島）から資料（p. 55）により提案があり、異議なく承認された。

内訳については、次のとおり説明がなされた。

収入の部について、部会交付金は251校で計上している。雑収入は前年度と同額、預金利息を計上。前年度繰越金は2021年度決算の次年度繰越金分を計上している。

支出の部では、部会活動費、研究会は前年度と同額を計上。総会費について、総会は昨年度と同様に集合形式で開催しないため予算を計上していない。研究会はオンライン開催し、委託費用やZoom契約等に関する経費が生じる予定。地区研究会交付金は2022年度加盟校予定数251校で計上しており、算出方法は資料注1のとおり。予備費の内訳は資料注2のとおりである。

4. 西地区部会の組織・活動のスリム化について

西地区部会の組織・活動のスリム化について、西地区部会長校 松山大学（児島）から配布資料（p. 56～58）により、これまでの経緯と説明がなされ、2022年度西地区部会総会においては以下二つの提案を諮ることについて、協議の結果、愛知工業大学（加藤）から、会報担当校の見直しについても検討してほしいとの意見が出されたため、総会資料には、下記文言を追加することとし、提案については、異議なく承認された。

「※会報当番校についても検討を引き続き行う。」を追加する。

【提案1】部会総会当番校を無くす（時期未定、近い将来）

【提案 2】部会長校の輪番制の対象校の基準について、「収容定員数※1 を基準とし、専任職員数を考慮する」

5. その他 なし

Ⅲ. 承合事項

西地区部会長校 松山大学（山内）より、資料（p. 59～61）に基づき説明がなされ、今年度は3件の承合事項が採用となり、総会で回答結果を提示することの説明がなされた。なお、各加盟館からの回答集計結果の回答集については、私図協協会 HP の西地区部会ページにPW付きで掲載する。

Ⅳ. 確認事項

1. 2022・2023年度西地区部会役員校について

西地区部会長校 松山大学（山内）より、資料（p. 62）に基づき説明がなされ、来年度部会長校の中部大学（高木）から挨拶が行われた。

2. 2022・2023・2024年度西地区部会当番校について

西地区部会長校 松山大学（山内）より、資料（p. 62）に基づき確認され、来年度総会当番校の名古屋学院大学（牧野）、研究会当番校の広島工業大学（西村）からそれぞれ挨拶が行われた。

3. 2022年度西地区部会関連行事日程について

西地区部会長校 松山大学（山内）より、資料（p. 63）に基づき確認がなされた。

以 上

<資料内容修正>

なお、資料（p. 3 と p. 24）の2021年度脱退届出校（2022年3月31日付脱退）の西地区3校の受理日について、後日会長校による確認の結果、下記に修正することとなった。

- ・徳山大学図書館 2022年2月7日受理（修正前2月10日）
- ・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学附属図書館 2022年3月11日受理（修正前3月16日）
- ・愛知医科大学総合学術情報センター 2022年3月29日受理（修正前3月31日）

役員会終了後、引き続き次年度の西地区部会総会および同研究会の開催方式について意見交換が行われ、次の合意がなされた。

- ・役員会はWeb会議、館長懇談会は中止、総会はメール会議（資料メール配信による書面審議・オンライン回答）とする。
- ・研究会についてはオンライン開催・オンデマインド配信（限定公開）とし、ハイブリッド開催とするかについては、当番校様で検討を行う。